

「令和6年度の支輪Do協議会の取組み」

高齢者宅を訪問した際などに、家庭菜園で作った野菜を食べきれず余らせてしまうという話を聞きます。そこで、令和5年度は、食べきれない野菜を販売することで、社会とつながり生きがいづくりになることを目的に、びらとり温泉（約3日間）や、ふれあい広場（1日開催）で高齢者が作る野菜販売の活動支援を行いました。

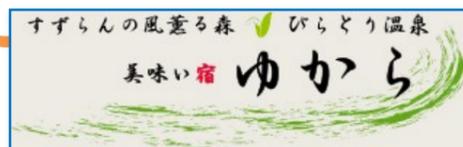
実際に協力をいただいた方（野菜出品者・びらとり温泉）にアンケートを実施し、取組みについて賛同が得られましたので、令和6年度も引き続き、高齢者が家庭菜園で作る野菜を販売できるよう、活動支援を行います。

令和6年度は、びらとり温泉での地元野菜の販売期間を長く設けて行う予定となっていますので、野菜を見かけた際はご購入をお願いします。

また、その他の取組みとして、若い世代にも交流サロン等に興味を持ってもらえるよう、新たに取り組む予定となっています。

令和6年度の活動取組み

1. 高齢者が家庭菜園で作る野菜の販売 活動支援
 - ・びらとり温泉での野菜販売（7月～9月予定）
 - ・ふれあい広場での野菜販売
2. 交流サロン等の魅力化（若い世代へのアプローチ）
 - ・美容やICT（携帯・タブレット等）を取り入れた内容のイベント開催



「加藤生活支援コーディネーターから 互野生活支援コーディネーターへ」

皆さんのサロンにお邪魔したことや札幌への研修など、とても楽しく学ばせていただきました。これからも支輪Do協議会での活動を続けていってください。6年間色々ありがとうございました。



今年も一緒に充実したサロンライフを過ごしていただけるよう、皆さんのところへお邪魔します。どうぞよろしくお願いいたします。

加藤さんには、約6年間、生活支援コーディネーターを担っていただき、各交流サロンに参加し、みなさんのニーズや意見を聞き取り、支輪Do協議会で報告を行っていただきました。そのおかげで、平取町における高齢者支援を検討することができました。ありがとうございます。そして、お疲れ様でした。

問合せ先：01457-2-3700（平取町地域包括支援センターほほえみ）

ささりんどう 支輪Do だより



ささりんどう

「支輪Do」とは、町章の笹竜胆をモチーフに、住みなれた平取町で元気で生活を送るために、みんなが支えあい、助け合いの輪を広げ活動する（Do）という想いを込め、「支輪Do協議会」という話し合いの場を設けています。

今回は、各種の活動報告と、令和6年度支輪Do協議の取組み等についてご紹介します。

また、いつでも閲覧できるよう町のホームページにも掲載しています。

発行：支輪Do協議会

「デイサービスでのトマト袋詰めのお仕事」

今年度も、びらとりデイサービスセンターの利用者さんによる、トマトの袋詰めのお仕事を実施しました。実施期間は、6月1日～10月13日の約5か月間。計93名の利用者さんが、トマトの袋詰め作業を行い、報酬としてびらとり農協より、28,110円の作業代をいただきました。そして、全額を作業日数に応じて利用者さんに分配しています。

令和6年度も継続して、トマト袋詰め作業を実施していく予定となっています。



トマトの重さを計量中



お給料袋

「平取高校で介護支援ボランティア養成研修を開催しました」

平取高校で介護支援ボランティア養成研修を12月25日（月）に開催しました。少子高齢化が進む中、介護に携わる人が不足しており、高校生にも介護の魅力について知ってもらうことを目的に、今回初めて実施しています。

研修内容として、高齢者疑似体験を取り入れたり、実際にボランティア活動を行っている方に「ボランティアの魅力とやりがい」について話しをしていただいています。今回、新たに5名の方がボランティアに加わりました。今後のふれあい広場や子ども食堂等での活躍を期待しています。

（平取町介護支援ボランティア登録者数：計79名）



「高齢者の見守りを考える町民の集い」の開催

12月16日（土）に、「認知症と生きる～いつか来るその日のために、今考え、出来ること～」をテーマに、認知症グループホーム協会 会長 宮崎直人氏を講師に招き、講演を行いました。

64名もの町民の方が参加し、認知症について（症状やその対応方法、不適切な言葉や対応など）熱心に受講されました。

平取町でも高齢化が進むにつれて、認知症状を患う方が増加しています。今回学んだことを少しでも実践することで、身近にいる認知症状を患った方が、「住み慣れたまちで、当たり前前に安心して、自分の意思で（自分らしく）暮らし続けることができる」まちを目指していきたいと思います。



「平取町 認知症サポーターの集い」の開催

12月16日（土）に懇談会を開催し、認知症サポーター養成講座を受講した方11名が参加しています。

これまで、認知症キャラバン・メイト（認知症について説明する講師役）が、認知症について講義を行い、認知症サポーター（受講者）を養成してきました。

しかし、その後、認知症サポーターさんへの関りがなかったことや、平取町においても認知症を患う方が増えている現状を踏まえ、認知症サポーターさん同士の交流と今後の認知症施策の取組みについて、ご意見をいただくことを目的に懇談会を開催しました。

懇談の結果

1. 認知症サポーター同士が定期的に交流できる場の開催
2. 認知症カフェの立ち上げ・チームオレンジ（認知症サポーターの活動）の設置を平取町の認知症施策の一つとして実施していきたいと思います。